

**「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方（素案）」
に関する市民意見募集の結果の概要について**

- 1 募集期間 平成26年2月7日（金）～平成26年3月7日（金）
- 2 周知方法 市民しんぶん掲載（2月1日号），ホームページ掲載，
リーフレット配布（庁内関係部署，市役所案内所，区役所・支所，市立図書館及び京都市景観・まちづくりセンター等）
- 3 意見数 79通（368件）
- 4 御意見の内訳

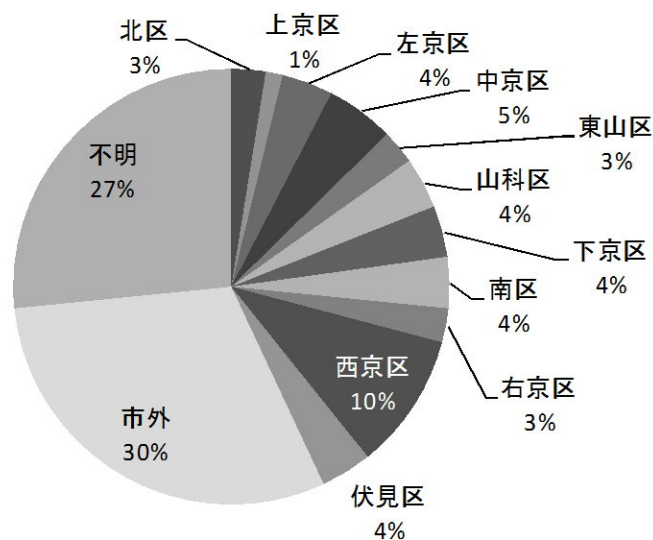
内 訳	意見数(件数)
1 検討の方向性に関する御意見	18件
2 広域拠点に関する御意見	64件
(1) 駅周辺にふさわしい都市機能のあり方に関する御意見	34件
① 広域拠点(全般)に関する御意見	6件
② 広域拠点(都心部エリア)に関する御意見	17件
③ 広域拠点(京都駅周辺エリア)に関する御意見	11件
(2) 都市計画に関する御意見	19件
① 広域拠点(全般)に関する御意見	4件
② 広域拠点(都心部エリア)に関する御意見	6件
③ 広域拠点(京都駅周辺エリア)に関する御意見	9件
(3) その他	11件
① 広域拠点(全般)に関する御意見	2件
② 広域拠点(都心部エリア)に関する御意見	7件
③ 広域拠点(京都駅周辺エリア)に関する御意見	2件
3 地域複合拠点に関する御意見	58件
(1) 駅周辺にふさわしい都市機能のあり方に関する御意見	39件
(2) 都市計画に関する御意見	3件
(2) その他の御意見	16件
4 日常の生活を支える地域に関する御意見	47件
(1) 駅周辺にふさわしい都市機能のあり方に関する御意見	29件
(2) 都市計画に関する御意見	7件
(3) その他の御意見	11件

5 魅力づくり拠点に関する御意見	67件
(1) 駅周辺にふさわしい都市機能のあり方に関する御意見	54件
(2) 都市計画に関する御意見	4件
(3) その他の御意見	9件
6 今後の都市計画の見直しに関する御意見	16件
7 その他の御意見	98件
(1) 検討の対象となる駅からの範囲に関する御意見	12件
(2) 各拠点の定義及び配置に関する御意見	14件
(3) 駅から離れた地域に関する御意見	18件
(4) その他の御意見	54件
合 計	368件

5 御意見をお寄せいただいた方の属性

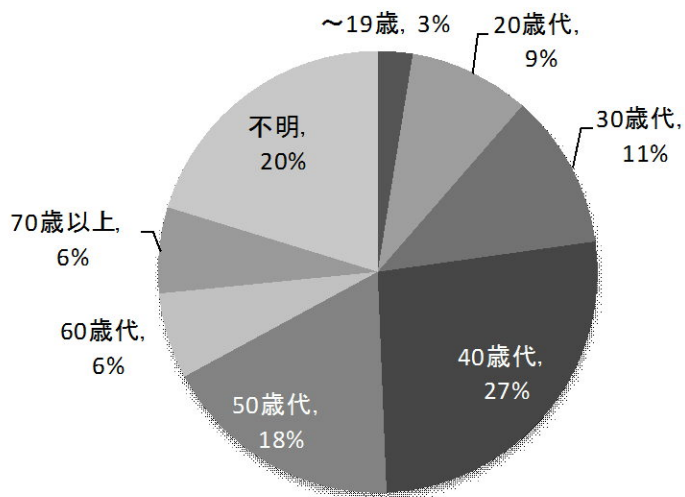
(1) 居住地別

居住地	通数	割合(%)
北区	2	3
上京区	1	1
左京区	3	4
中京区	4	5
東山区	2	3
山科区	3	4
下京区	3	4
南区	3	4
右京区	2	3
西京区	8	10
伏見区	3	4
市外	24	30
記入なし	21	27
合 計	79	100



(2) 年齢別

年齢	通数	割合(%)
～19歳	2	3
20歳代	7	9
30歳代	9	11
40歳代	21	27
50歳代	14	18
60歳代	5	6
70歳以上	5	6
記入なし	16	20
合 計	79	100



パブリックコメントにおいて頂いた御意見の概要

1 検討の方向性に関する御意見（計 18 件）の概要

- 今後、人口が減少していくなか、効率的な都市経営を行っていくうえで、コンパクトな都市に再構築していくことは重要である。
- 今回の取組は、「歩くまち京都」の推進と連動しており、医療・介護費の削減や、駅周辺における人と人との交流促進に繋がるものであるため、エコ・コンパクトなまちづくりを進めて欲しい。
- エコ・コンパクトだからといって、小さくまとまるのではなく、今後の土地利用を誘導するような議論をして欲しい。
- 今回の検討が、国で議論されていたり、富山市や青森市で実践されているコンパクトシティの考え方であるのであれば、京都の市街地には用いられない手法であるため、明確に反対する。

2 広域拠点に関する御意見（計 64 件）の概要

（1）広域拠点（全般）に関する御意見の概要

- 商業施設やホテルを集積させるべきである。
- 中心地としての都市機能を充実させる際にも、歴史的景観の維持の観点を大切にしたい。

（2）都心部エリアに関する御意見の概要

- 都心部エリアについては、引続き、幹線道路沿道のエリアと職住が共存するエリアを分けて発展させていくことが重要である。
- 職住が共存するエリアについては、京町家などの京都らしい風情を残す取組を進めるとともに、開発を抑制するべきである。
- 幹線道路沿道のエリアについては、高度化を促進させるべきである。
- 三条京阪駅については、高度地区の見直しなどにより、ターミナルにふさわしい商業・業務施設が立地できるようにしてほしい。

（3）京都駅周辺エリアに関する御意見の概要

- 京都駅周辺には、京都の玄関口としてふさわしい機能を集積させるべきである。
- 京都駅南側は、北側に比べて賑わいが少ないと感じるため、検討されている都市機能の集積が望まれる。また、景観の整った賑わいのあるまちづくりをするべきである。
- 京都駅周辺の鴨川沿いは市立芸大の移転に伴い、新たな風物詩が創造され根付くことを期待する。
- 京都駅周辺エリアにおける「京都駅の集客効果を周辺地域のまちづくりに活かす」については、考えを具体的に書くべきではないか。

3 地域複合拠点に関する御意見（計 58 件）の概要

- 保育園等の子育て支援機能は駅前や駅の中など、駅の近くにある方がよい。
- 高齢者施設については、駅周辺にかかわらず配置して欲しい。
- 既に拠点である駅については、都市計画として過剰に対応する必要はない。
- 出町柳駅、丹波橋駅、桂駅などの乗換えが多い駅については、拠点として都市機能の集積が望まれる。
- 竹田駅は、このままではもったいないので是非にぎやかにしてもらいたい。

パブリックコメントにおいて頂いた御意見の概要

4 日常の生活を支える地域に関する御意見（計４７件）の概要

- コンビニや薬局等の生活利便施設が立地できるようにするべきではないか。
- 住宅地の中にある駅については、利便性を求めなくても良いのではないか。
- 叡山電鉄二軒茶屋駅については、大学の学生が乗り換える駅であることから、少なくともコンビニや小規模店舗の立地を可能とするべきである。

5 魅力づくり拠点に関する御意見（計６７件）の概要

- 周辺に魅力や活力を生み出す施設があるのなら、積極的に活用してさらに魅力的なまちにして欲しい。
- 観光地や文化ゾーンでは、まちを歩きたくなるような回遊性や賑わいが必要である。
- 周辺の住環境には十分配慮するべきである。
- 阪急嵐山駅周辺は京福電鉄嵐山駅に比べるとさびしいため、観光地にふさわしい商業を誘致できるよう計画することが望まれる。
- 阪急嵐山駅については、嵐電嵐山駅のような観光地の駅前にする必要はない。
- JR 丹波口駅周辺については、リサーチパークや京都市中央卸売市場を経由して、京都鉄道博物館や京都水族館などに回遊するに当たって、楽しめる施設が立地できるようにするべきである。

6 今後の都市計画の見直しに関する御意見（計１６件）の概要

- 今後も必要に応じて見直されることを希望する。
- 都市計画を見直せば都市機能が誘導できるかのように見受けられるが、全くそんなことはない。ものづくりや福祉その他の取組とあわせて初めて実現できる。
- 規制緩和を行うのであれば、緩和のボーナスを与える条件を付けて、誘導したい都市機能がしっかりと実現できる制度活用を行って欲しい。
- 土地利用の根幹を変更する場合は、十分ニーズがある地域に限定し、それ以外の地域では、まちづくりや事業実施など、具体的な取組とセットで進めるべきである。

7 その他の御意見（計９８件）の概要

- 広域拠点については、駅からの広がりをもどの程度にするのか。変更しようとする範囲は、素案に図示されている場所か。
- 駅から離れたスプロールした郊外の地域やニュータウンが今後スラム化しないか心配である。これらに対する対策が記載されていないが、検討はされているのか。
- 駅周辺において規制を緩和するのとあわせて、それ以外の地域について制限を強化しなければ、コンパクトとはならないのではないか。
- 既に過剰に拡大した市街化区域や、オーバースペックで指定されている用途地域等の都市計画を全市的に検証し、より駅周辺に都市機能を集約させる仕組みを考えることが重要ではないか。
- 洛西バスターミナル周辺、中書島駅と淀駅の間の地域、久我・久我の杜・羽東師地域のような、鉄道駅のない地域については、どうするのか。
- 市街化調整区域にある駅周辺の土地利用も見直すのか。
- 人口減少を前提とするのではなく、人口を維持できるような都市計画の目標を定めるべきではないか。
- 都市計画の分野だけでなく、他の分野においても取り組むべきである。